



一つでも多くの情報を届けたい

## 音訳ボランティア「やまびこの会」

部屋からあふれる爽やかな声。

ここは市役所八木支所の録音室。八木町で昭和58年3月から活動されている音訳ボランティア「やまびこの会」は、情報が少なくなりがちな目の不自由な方へ「声」によって、さまざまな情報を届けておられます。会員は20人で、「広報なんたん」や「お知らせなんたん」、「市議会だより」、「なんたん社協だより」などの広報紙を声で録音し、多くの方（リスナーさんと呼んでいます）に届けます。録音作業は、月に4回程度、4つの班に分かれ録音室で行います。

長年心を込めて声を届けている大内清美さんは「何かできることがあるらばと思ひ、会に入りました。」



### やまびこの会 年間スケジュール

- ◇録音作業（月4回程度）
- ◇定例会（毎月第2木曜日）
- ◇自主講座（年4回程度）
- ◇リスナーさんとの交流会（年1回）
- ◇京都府視覚障害者協会と交流
- ◇社会福祉協議会や行政と懇談会

#### お知らせ

やまびこの会では、リスナーを募集しています。高齢のため文字が読みにくいという方や小さい字を読むのが苦手という方にもお届けします。

録音テープをご希望の方は、  
南丹市社会福祉協議会八木支所  
TEL：(0771) 42-5480  
までご連絡ください。

やまびこの会  
代表 山本 千代子さん  
TEL：(0771) 42-3727



▲和気あいあいとした雰囲気の中で心を込めます

と言われるとうれしくて」とやりがい話をしてくださいました。

リスナーの浅田美代子さんは「20年以上テープを聞かせてもらっています。特に身近な話題が楽しみ。また、議会の様子も分かり、友人と会話していて、『そんなことをよく知っているね』と言われることもあります」とテープが届くのを楽しみにされています。

活動を通して八木町以外の地名や市の動きなどに関心を持つようになりました。合併後記事の量が増え、作業が大変ですが、視覚障がい者の方に私の声を覚えていただいている、出会ったときにあいさつしたら『その声は大内さんやね』

会では今後、リスナーからのリクエストで図書や広報紙以外の情報などを音訳する活動を増やしていきたいと目を輝かせておられます。リスナーが聞き疲れのない爽やかな音訳も心掛けられていて、温もりあふれる「声のたより」が行き交うまちついでいいですね。